

「免除」申請の手続きについて

1. 背景

MPS 認証基準には、適用の除外（免除）を認める規定が設けられています。MPS は、特定の条件や義務の遵守を合理的に求めることができないと判断した場合、特別なケースにおいて、それらの一つまたは複数の条件・義務の免除を認めることがあります。免除の承認および（その免除措置を一部根拠とした）認証書の発行にあたっては、制限、条件、または規則が付される場合があります。

2. 目的

MPS に対する免除の申請およびその申請の処理に関する手順を定める。

3. 用語の定義

CB（認証機関）：MPS とのライセンス契約に基づき、認証基準の要件に適合した審査を実施する権限を有し、かつ MPS-ABC 認証書を発行する権利を付与された組織。

CvE：専門家委員会（Council of Experts）。

参加者：一つまたは複数の MPS 認証基準に参加している顧客。

MPS 認証基準：農業分野で事業を行う企業のサービス、製品、またはプロセスを認証するための MPS のシステム。

免除：MPS 認証基準の一つまたは複数の条件を遵守しなくてもよいとする一時的な許可。

4. 免除

MPS 認証基準の当初導入時、または基準改定に伴う要件導入時において、参加者が諸事情により 1 つ以上の規定を一時的に（完全には）実施できないと判断し、その結果として MPS 認証基準のすべての条件を満たせなくなる場合があります。

「免除」とは、MPS 財団（Stichting MPS）のサステナビリティ & イノベーション・マネージャーが、参加者に対し、MPS 認証基準の 1 つ以上の要件を遵守しなくてもよいと一時的に許可することを指します。免除は MPS 認証基準の参加者個人に対して付与され、その有効期間は最長 1 年間です。免除の適用は、免除が申請された条件に関連する基準の変更が行われた場合には、その変更の影響を受けるものとします。

例外的な場合として、MPS 財団の理事会が MPS 認証基準の要件を包括的に一時停止することがあります。この決定は、すべての参加者、または当該認証基準が適用される特定の地域に対して適用される場合があります。包括的な免除に関する理事会の決定は、本手順の対象外となります。

5. 手順

5.1 免除の申請

個々の参加者は、カスタマーポータルを通じて Stichting MPS に免除を申請することができます。申請は「サステナビリティ & イノベーション」部門によって処理されます。

この免除申請は、認証機関による監査や評価の過程で指摘された不適合事項に関連するものではありません。また、免除申請を行うことによって、監査で確定した不適合事項の是正手続きが一時停止されることはありません。

5.2 申請の審査

申請内容に不備がないかどうか、当該規格担当のサステナビリティ・スペシャリストによって審査されます。必要に応じて、サステナビリティ・スペシャリストは申請者に追加情報を求めることができます。

参加者からの（不備のない）申請に基づき、サステナビリティ・スペシャリストは当該規格のプロダクト・マネージャーに対する助言を作成します。プロダクト・マネージャーは、申請内容とサステナビリティ・スペシャリストの助言を審査し、免除の可否に関する推奨意見を付して判断を下します。プロダクト・マネージャーは、推奨意見を含む免除に関する情報を MPS-ECAS の品質保証（QA）スペシャリストと共有します。QA スペシャリストは、申請内容が認定規則に抵触していないかを審査します。抵触がない場合、申請は「サステナビリティ & イノベーション」マネージャーに提出され、最終決定が行われます。

5.3 決定

サステナビリティ & イノベーション・マネージャーは、申請および助言に基づいて決定を下します。サステナビリティ & イノベーション・マネージャーは、免除の申請を承認するか、または却下するかを決定します。

免除の承認または却下に関するサステナビリティ & イノベーション・マネージャーの決定は、自動的に AFAS（データベース）に記録され、少なくとも以下の要素を含みます。

- サステナビリティ & イノベーション・マネージャーの決定内容
- 免除が承認または却下された対象の MPS 認証基準
- 免除が承認された参加者の名称
- 免除の期間、および関連する条件、または却下の場合の理由

サステナビリティ & イノベーション・マネージャーの決定は、AFAS から申請者へ自動的に通知されます。その後、関連する認証機関（CB）、コーディネーター、MPS-ECAS の製品担当者など、その他の関係者にも AFAS を通じて通知が行われます。

6. 異議申し立て

サステナビリティ & イノベーション・マネージャーの決定に同意しない申請者は、Stichting MPS の CvE（異議申し立て委員会）に対して異議を申し立てることができます。参加者は Stichting MPS に異議を提出することができます。CvE への異議の提出は、プロダクト・マネージャーの責任において行われます。その後、CvE は客観的な機関として、当該申請およびサステナビリティ & イノベーション・マネージャーによる決定内容を再審査します。CvE の決定は拘束力を持ちます。